道東地区教会連合会機関誌

道東光報 22

'DŌTŌUKŌHŌ',Journal of KONKOUKYOU East Hokkaido reg., No.22 Apr.,2009

巻頭言

道東地区教会連合会信徒会副委員長　横畠安男

『道東光報』が発行されて今年で十一年目になると思います。この機関誌には各教会の出来事や行事が掲載されており、記事を読むことで皆さんと同じ教会に参加させていただいているように思えてきます。その様な思いから私が前々から考えていることの一部を皆さんと共有できたらと思います。

○

現代社会には様々な問題が起きています。百年に一度といわれる大不況などもありますが、農民としての私個人が気になるのは、益々進んでいく地球温暖化に伴う異常気象、氷河の融失や砂漠化、地下水の無秩序な利用による水不足などやはり環境問題であります。

○

身近なところでは、もともと北海道には無かったはずの植物や昆虫が自生するようになり、降雪、降雨量は減っていますが、降るときには集中豪雨や豪雪になることが多くなっているように思います。このような自然環境の変化に対しては一個人の力ではとてもどうすることもできません。

ところで、そういう環境の変化が激しい中でも、先人達から伝わってきた自然に関する知恵は今でも通用することが多いのも事実です。

例えばコブシの木の花が付く向きでその年の降雨量や風の強さが予想できたり、カラスの巣の高さで風の強弱を予想する。あるいは、ヤチハンノキという木が芽吹けばもう霜は降りないなどたくさんあります。

これらの多くは、その地に生きる動植物の生態を観察することから分かることですが、自然の動植物は自分の生きる環境の変化にいかに敏感に対応しているかがわかります。

○

普段の暮らしに目を向けてみると、世界的な大不況といわれているにもかかわらず（個人の財布の中身は段々と厳しい状況になっていますが）、お店の棚には相変わらず商品が溢れ、売れ残り、食べ残しのものは処分され、廃

棄されています。またこれはそのまま教会にもあてはまることですが、高齢化社会が進んでいて、教会の行事にも参加する若い人が少なくなり、後を受けてくれる人がいるのか将来に不安を感じてしまいます。

○

私たちはどうしても「今」の生活の大変さに目が行き、「神様」に心を向け信心をしていく『こころ』の余裕が無くなってきているように見受けられます。このような厳しい時代だからこそ、改めて金光教の教えを見つめ直し、もう一度新たな心で信心をさせていただく必要があると思います。

○

今年は立教百五十年のお年にあたり、秋には全国各地の信奉者が各々の「願い」や「想い」を持ってご本部に参拝されることになるでしょう。この機会にひとりの信奉者として日頃の信心生活を見つめ直し、新たな心で自分の信心を見つけていきたいものです。

立教百五十年を迎える金光教と、その教えに代々救われて御神助をいただいている信奉者の両方が、新たな気持ちで日々の生活を積み重ね、毎日の生活を感謝の気持ちを持って過ごさせていただきたいものです。

あいよかけよの生活運動

願　い

わが心の神に目ざめ
祈り、対話、行動をもって
神を現す生活をすすめ
共に助かる世界を
生みだそう

教会掲示板

教会からあれこれ

帯広教会

帯広市東四条南八丁目四番地
TEL　〇一五五―二三―六八三五
FAX　〇一五五―二三―六八三五

3月31日夜、帯広教会責任役員であるIさんが亡くなりました。昨年末より入院をしておりましたが、あまりの突然の訃報に驚くばかりでした。葬儀を仕えさせていただくべく、奥さんや息子さんなどに色々お話しを聞かせていただきました。地域社会でのご用、町内会のご用と心を尽くしお役に立ってくださいました。また教会においても、責任役員、信徒会長と私心なく、みんなのために楽しく喜んでのご用や、仕事柄手先が器用で建具のことや大工仕事など何でもこなしてくださり、教会にとって大きな功績を残してくださいました。

教会連合会においても、研修会、パークゴルフ大会、隣接教会の大祭参拝などと交流や親睦を率先してご用をしてくださりました。

Iさんは皆さんもご承知のとおり、仕事一筋60年、真面目で、実意丁寧な人柄でありました。私自身も子供の時から、それこそ息子同様にお世話を頂き、また月例祭や教会行事の時などには今では孫にまでいろいろとお世話を頂きました。子供好きで面倒見のよいIさんでした。今として大きな思い出は、教祖百二十年本部団体参拝のとき、本部斎場において信徒代表で玉串奉献のご用をさせていただき非常に喜んでお礼を申し上げたことでした。

今年も立教百五十年ということで、10月には夫婦そろって本部参拝させていただき、結婚50年のお礼といままでおかげを蒙ってきたことにお礼を申し上げたいと願っていたところです。残念なことであります。御霊様と共に参拝し

たいと思います。改めて、Ｉさんには生前お世話になったことにお礼を申し上げ、御霊様の立ち行きをご祈念申し上げます。

（田中）

北見教会

北見市寿町三丁目五番一号
ＴＥＬ　〇一五七―二四―七四七四
ＦＡＸ　〇一五七―二四―七四七四

昔の三、四月はこんなに雪が少なくなかったと思います。自分が子供の頃は入学式を迎える頃でも雪を踏み固めて道を作っていたものですが、最近はその雪がありません。これも地球温暖化による影響が大きいのでしょう。この大きな環境問題に対して私たちが今できることは、できるだけ無駄をしない、エコライフと呼ばれる生活を積極的に取り入れていくことぐらいでしょうか。

新年度が始まり四月ももう半ばが過ぎました、今年は立教百五十年記念祭への団体参拝があり、連合会ではパークゴルフ、研修会、青年家族交流会などがあります。パークゴルフと青年家族交流会は北見が会場になっており、準備作業をすすめています。特に青年家族交流会では芋掘り体験を行う予定で、参加者に喜んでいただけるよう品種や作付けの時期を思案しています。どの行事でもそうですが、参加者が少ないと行事が盛り上がりません。準備不足などで行き届かないところもありますが、多くの方に参加していただき、楽しく有意義に過ごしていただきたいと思っておりますので、ご都合をつけて参加していただきますようお願いいたします。

（横畠）

釧路教会

釧路市宮本一丁目五番二二号
ＴＥＬ　〇一五四―四一―一三五一
ＦＡＸ　〇一五四―四一―一三六一

昨年秋「釧路布教百年祭」を仕え、沢山の参拝を頂きましたので、改めて紙面をお借りしてお礼させていただきます。

釧路教会では百年祭を記に『誰が、私に信心を伝えたか』をテーマに、釧路布教百年百日信行として、七月四日～十月十一日、毎朝五時三十分にご祈念に取り組みました。

八木幸次郎先生に信心を伝えたのは矢代幸次郎先生です。しかし、金光大神の信心は矢代先生が考えたのではなく、その先には杉田政次郎先生から近藤藤守先生、白神新一郎先生、藤井キヨノと続き、金光大神へと繋がっている。では、金光大神が考えた信心かと言えば、金光大神自身は「私は、土を掘る百姓」と言い、最後は天地の働きに繋がっていることを教えています。

受け継いだ人が、その信心を自分のものにして次の人へ、私たちは信心をどう受けているか、自分の信心を子孫に伝えられるかと次々に課題がはっきりしてきました。

この取り組みは百年祭後も普段のご祈念の際に若干の型が取り組んでいます。そして、今年は立教百五十年百日信行を六月二十五日から十月二日まで朝五時三十分に行います。

（江郷）

滝上教会

紋別郡滝上町元町十別通り

今年は、滝上入植百年の年にあたる。明治四十二年十一月の初旬、後の初代教会長・岡本政道に率いられた金光団体が名寄までは汽車で到着、そこから滝上二区までの歩いて辿り着いてからである。

宗教法人の教会としての設立は昭和三十七年五月になるが、滝上での教会活動は、この明治四十二年十一月から始まる。毎月、月例祭を行い、そのうち二十三日にちは各家庭を回る「二十三夜祭」としてお祭りを仕えている。春秋のご大祭や霊祭も仕えていた

と思われるが、春の農作業が一段落すると「夏祭り」として岡本家の前庭で子供相撲大会が開催された。この夏祭りには金光団体のばかりではなく、近隣の同じような入植者達も参加し、百人ほどの参加者がいたという。娯楽の少ない時代、布教活動だけではなく地域の中心になって活動してきた。

この九月二十七日に仕える秋の大祭は「滝上入植百年」と銘打って祭典を仕えさせていただき、参加者と往時を偲びたい。

（江郷）

十勝教会

池田町旭町一丁目九番地二一
TEL　〇一五五七―二―二三二二
FAX　〇一五五七―二―四二一三

この冬は例年になく雪の多い年でしたが、その雪もあっという間に解けてなくなり、気が付けば平成二十一年も四月を過ぎようとしています。

今年は立教百五十年の記念の年ですから、十勝教会でも秋の本部大祭には奉祝の団体参拝を予定しています。北海道からの団体参拝となると、飛行機やバスなど交通費だけでも相当な負担になり、昨今の社会状況もあって、果たしてどのぐらいの方が参加されるかと心配していましたが、「せっかくの奉祝のお祭りなので是非参拝したい」という方がかなりおられ、それなりに賑やかな団体参拝になりそうです。中には自営業の方で「家族で仕事をせねばならないが、都合を付けて誰か一人でも参拝させたい」という方もおられ、せっかく与えられた本部参拝の機会を無駄にしてはならないという信奉者としての姿が見受けられます。

逆にこれは、時代が変わったとはいえ、現代でも北海道から本部へ参拝するのがいかに大変かということを現しているわけですが・・・。

（玉置）

網走教会

網走市北四条西一丁目六番地
TEL　〇一五二―四三―三九五四
FAX　〇一五二―四三―三九五四

三月十日、教会に車がやってきました。約一年と半年の間車の無い生活をさせて頂きましたが、長かったようで短く、短かったようで長い一年半でした。

車は、中古の一〇〇〇CCと普通車では一番小さいクラスですが、ちゃんと五人乗りで、燃費がともすると軽自動車よりも良いという優れものです。

大学を卒業し社会人となってから当たり前のように車を購入し、特に地方では公共の交通機関が都会ほど発達していませんので、自家用車を持つのは当たり前のことでした。しかし、それは大きな間違いで如何に有り難いことであったかを今更に思われます。

この一年半、地方における車のない生活の不便さを感じ、時には惨めさが心を過ぎり、他を羨むようなことに心が縛られそうになります。そんな時には、「他人がどうであろうと比較する必要なし、生命を保てれば分限者（物持ち、金持ちの意）なり。もっと大切なことを求めよ。」との今は亡き矢代禮紀親先生のお手紙を思い浮かべてはマイナスな思いをプラスに改めていました。

この様にこの一年半を振り返ってみますと、色々なことに気付かされ、学び、おかげを頂いた一年半だったと思います。中でも心が折れそうになったり、マイナスな思いに縛られそうになったとき、前述にあるように、「思い変え」をすることの大事さとそれを促すこのお道のお取次の重要性を改めて気付かせて頂きました。

他にも、意外なことで驚いたことがあります。それは、

車がないおかげで、生活の中に時間的な余裕が生まれたということです。よく言われることですが、携帯電話の普及により、今まで以上に忙しくなり一日中仕事に追われ、心休まる暇がないなど、便利なるが故に余裕がなくなるといったことですが、車に関してもその事が言えるんだと思わされました。外に出る機会がそれだけ減るので、生活の時間的余裕が生まれるんです。新鮮な驚きでした。

子供達の力強さ明るさ、逞しさに気付かされ、返って親が救われていることに気付いたことなども有り難いことでした。

また、この間に様々な人にご心配を頂き、声をかけていただいたのですが、その言葉の有り様一つで、勇気づけられることもあれば、傷つけられることもありました。病人を見舞うときのみ教えにもありますが、相手の立場に立って言葉をかけることが如何に大切であるかなども学ばせてもらい、これまで、私にも何気ないあるいは上から目線での慰めなどで誰かを傷つけてしまったことがあるのではないかと神様にお詫びせずにはおれません。

とにもかくにも、車を頂いた後も、この様な貴重な体験をさせて頂いたことを忘れずに、これからの生き方の上に現せて頂かねばと願いを新たにしております。

（菊川）

第 8 回道東地区教会連合会
交流パークゴルフ大会

日時　平成 21 年 7 月 12 日（日）
10 時 30 分集合
会場　常呂町
詳細はあらためてご案内します。

道東地区教会連合会ホームページ　http://city.hokkai.or.jp/~mtamaki/DOTO

平成二十一年度総会報告

▽日　時　三月二十二日（日）10時30分～15時
▽会　場　釧路教会
▽参加者　17名（教師、信徒委員）
▽内　容
・平成二十年度活動報告
・平成平成二十年度収支報告
・平成二十一年度活動計画
・平成二十一年度予算

以上、総会にかけられた議案はすべて承認されました。
※議事の詳細については各教会までお問い合わせください。

委員研修会

総会行事終了後、出席した教師、信徒委員を対象とした研修会が開催されました。
▽日　時　総会行事終了後
▽内　容
「よりよい教会を目指して」
立教百五十年を迎えて教祖様の信心を再確認する
提言者　矢代千春先生（北見教会長）
提言を受けて班別懇談
※提言を録音した音声データがあります。事務局（網走教会）までお問い合わせください。

平成 21 年度道東地区各教会大祭日程

	春	秋
・釧路教会	5 月 24 日（日）	10 月 18 日（日）
・北見教会	5 月　3 日（日）	11 月　3 日（月）
・十勝教会	4 月 19 日（日）	11 月 22 日（日）
・帯広教会	4 月 26 日（日）	11 月　8 日（日）
・網走教会	5 月 17 日（日）	10 月 25 日（日）
・滝上教会	5 月 10 日（日）	9 月 27 日（日）

各教会とも祭典開始は午前 11 時の予定

☆滝上入植 100 年記念祭　9 月 27 日（日）

平成 21 年度道東地区教会連合会研修会

日　時　平成 21 年 7 月 25 日（土）14 時～ 17 時
会　場　十勝教会
内　容　テーマ「教祖様が伝えたかったこと」
　　提　言　菊川松次郎先生（網走教会長）
　　提言を受けて懇談

終了後懇親会を予定しています。翌日は「あいよかけよの集い」があります。

立教 150 年度道東地区「あいよかけよの集い」

日　時　平成 21 年 7 月 26 日（日）9 時～ 12 時
会　場　十勝教会
内　容　テーマ「共に助かる世界を生みだそう」
　　提　言　手塚征三氏（運動推進員・札幌南教会在籍輔教）
　　提言を受けてテーマ懇談

道東地区青年家族交流会

日　時　平成 21 年 8 月 22 日（土）17 時～ 23 日（日）12 時
会　場　北見市周辺
内　容　懇親会（バーベキュー）、芋掘り体験など
参加費　大人 3,000 円

毎年好評をいただいている家族キャンプです。今年は農場の畑をおかりして芋掘りをする予定です。どうぞご家族で参加してください。詳細はあらためてご案内します。